

応募総数18,374点より、入賞作品66点が決定 第5回「ミツバチの一枚画コンクール」表彰式 2017年10月28日に開催

株式会社 山田養蜂場(本社：岡山県苫田郡鏡野町 代表：山田英生)が主催する、第5回「ミツバチの一枚画コンクール」の表彰式ならびに、受賞祝賀会を2017年10月28日(土)に開催しました。

作品の応募総数は、全国47都道府県と海外9か国(ドイツ、スロベニア、タイ、南アフリカ、中国、カンボジア、ネパール、アフガニスタン、ルーマニア)から18,374点(国内:17,764点、海外:610点)ご応募いただきました。厳正なる審査のもと入賞作品計66点(大賞6作品を含む)が決定し、表彰式の運びとなりました。

大賞、優秀賞、入選の受賞者22名とご家族など37名、総数59名をご招待して、浜離宮朝日小ホールにて盛大に執り行いました。

また、海外部門の優秀賞を受賞された3名から録画でお寄せいただいた動画メッセージを場内で放映して、喜びを共有していただくことができました。

表彰は、大賞受賞者6名に弊社の代表取締役社長・山田英生より、優秀賞受賞者6名(うち2名欠席)には朝日学生新聞社の代表取締役社長・脇阪嘉明氏より、入選受賞者12名には玉川大学の名誉教授・佐々木正己氏、写真家の今森光彦氏、アートディレクターの結城昌子氏より授与いただきました。

授与の後は、壇上にて受賞者お一人ずつ授与者との記念撮影をいたしました。受賞者の皆さまは、少し照れながらも誇らしく、歓びにあふれた晴れやかな表情をされており、場内は歓びに満ちた雰囲気になっていました。

表彰式に続き、祝賀会では審査員の先生方と記念撮影をされたり、また、受賞者同士で栄誉を讃えあっておられ、終始和やかな時間が流れました。



表彰式の様子



弊社代表取締役社長：山田英生



朝日学生新聞社：代表取締役社長 脇阪嘉明氏



玉川大学：佐々木正己名誉教授

【審査員 講評】

■ 玉川大学／名誉教授 佐々木正己 氏（審査委員長）

今年で5回目を迎えましたが、すべての都道府県から18,000点ちかく、国外からも600点を超える作品が集まりました。最終審査ではどの作品を推すか迷うことが多く、とても楽しみながら選考させていただきました。毎年応募して下さる方もいて、「今年はこう来たか！」などと過去の作品と見比べる場面もありました。鋭い観察眼で捉えた精巧・緻密な描写、ダイナミックさなど、お子さんの大胆な世界には、いつもいいなと思わされます。

■ 写真家／今森光彦 氏

今年も、数多くの優れた作品を拝見できて、幸せな時間を過ごさせていただきました。ミツバチは、小さくてよく動く昆虫ですが、自分の目でよく観察して描かれていることに驚きます。ミツバチという小さな命を題材にして、アート性を打ち出している作品がたいへん多かったのが、とてもよかったです。絵画だけでなく、切絵、半立体などの作品もあり、制作手法がバラエティーに富んでいました。

■ アートディレクター、エッセイスト／結城昌子 氏

毎年のコンクールとなると傾向が似てきたりするのは、と個人的に少し気にしていました。ところが、予想を裏切るように異なるアプローチの作品が増え、レベルが上がっていることを実感しました。今年も、私の知らなかった巣箱の絵が海外から届いたりして、ミツバチへの新たな学びのきっかけをいただきました。地球のいたるところでミツバチが親しまれ、愛されている事実で改めて驚き、感動を覚えています。

■ 朝日学生新聞社／代表取締役社長 脇阪嘉明 氏

今年も多くの作品を応募していただき、ありがとうございます。学年を問わず、大胆な構図や表現豊かな描き方の作品が多くみられ、子どもたちの観察力に驚きました。環境の変化によって、生活の中でミツバチを見る機会は減りましたが、想像力豊かにミツバチと人、街並みなど、多彩な風景が描かれるようになっていきます。これからも、ミツバチを通じて環境に関心を持ち、環境を守ることにつながるきっかけになればと願っています。

■ 株式会社 山田養蜂場／執行役員 岩間登美子

子どもの部の絵は、成長とともに変化する感受性が色や線に表れていて、まっすぐな生命力に心が洗われました。中高生の部は、ほとぼしる感性に加え美術の技法が活かされた芸術性の高い作品が多く、ミツバチと自然との共存や、自然環境の大切さをテーマにした作品はポスターにもよいと思いました。海外部門では、アフガニスタンの花とミツバチの作品が印象的で、平和や安定のない環境で描かれた美しい絵は、描いた人の表情が浮かぶようでした。

【表彰入賞者】 国内

賞	部門	学年/年齢	作品タイトル	氏名	住所	園・学校名/絵画教室名
大賞	一般の部	54歳	一滴入魂 ハチミツ物語	太田 敏子	東京都	
	中高生の部 (高校生)	高校2年	女王の誕生	畠 香澄	佐賀県	佐賀県立伊万里高等学校
	中高生の部 (中学生)	中学3年	ミツバチと大自然	青柳 美希	新潟県	田上町立田上中学校
	子どもの部 (小学4-6年生)	小学4年	みつばちさん、お城の桜は満開です	瀧山 凜音	高知県	高知市立秦小学校
	子どもの部 (小学1-3年生)	小学1年	ミツバチさん こんにちは	小泉 詩絵	千葉県	千葉市立蘇我小学校
	子どもの部 (幼児)	6歳	みつばちのおすもうたいかい	齋藤 駿成	三重県	海の星カトリック幼稚園
優秀賞	一般の部	80歳	大好き！日本の自然	納 正彦	福井県	
	中高生の部 (高校生)	高校2年	旅	藤田 真奈	福岡県	福岡県立太宰府高等学校
	中高生の部 (中学生)	中学2年	雨上がり	大場 万輝	静岡県	浜松中部学園
	子どもの部 (小学4-6年生)	小学6年	巣箱に帰ってきたミツバチ一家	南川 千佳	群馬県	館林市立第一小学校
	子どもの部 (小学1-3年生)	小学3年	クローバーからみつをもらうミツバチ	遠藤 由奈	岐阜県	各務原市立蘇原第一小学校
	子どもの部 (幼児)	4歳	はなにとつはち きいろちゃん	杉本 陽音	東京都	豊島区立東池袋第一保育園
入選	一般の部	45歳	娘とレンゲ畑にて…	大平 知美	香川県	
		41歳	お野菜、果物、授粉のおかげ	栗林 真希	茨城県	
		35歳	女王の待つ城へ	樋口 奈穂	東京都	
	中高生の部 (高校生)	高校3年	ぬくもり	秋葉 可奈	千葉県	千葉県立多古高等学校
		高校1年	闇蜂	前田 桃花	宮崎県	宮崎学園高等学校
	中高生の部 (中学生)	中学3年	広がる世界	伊禮 遥	沖縄県	浦添市立港川中学校
		中学2年	幸せをのせて	竹野 綾	神奈川県	横浜市立美しが丘中学校
	子どもの部 (小学4-6年生)	小学6年	田んぼとミツバチ	内田 百奏	千葉県	印西市立原小学校
		小学6年	はちさんみつけた！	仲田 穂奈実	神奈川県	横浜市立本郷小学校
	子どもの部 (小学1-3年生)	小学3年	宇宙船 蜂型ロボ8 (エイト)	木村 勇次郎	広島県	呉市立昭和南小学校
		小学3年	幸せのかおりにさそわれたみつばち	津野 謙蔵	高知県	高知市立初月小学校
	子どもの部 (幼児)	5歳	ミツバチとひまわり	西尾 衣織	大阪府	千里敬愛幼稚園

【表彰入賞者】 国外 ※動画コメント放映

賞	部門	学年/年齢	作品タイトル	氏名	フリガナ	国籍
優秀賞	一般の部 (18歳以上)	32歳	CROCUSES & BEES	Aurora Părau Grigorescu	アウロラ パラオ グリゴレスク	ルーマニア
	子どもの部 (17歳以下)	12歳	Bee in the nature	Lima Noori	リマ ノーリ	アフガニスタン
		12歳	The Life of Bees	Marusa Korbar	マルシャ コルバル	スロベニア

【第5回 ミツバチの一枚画コンクールについて】

- 募集テーマ：「花とミツバチ」「自然の中のミツバチ」「人とミツバチ」など、自然環境の大切さや人との関わりを感じられるミツバチを描いた一枚画
- 募集期間：2017年3月8日～2017年7月15日
- 国内部門：子どもの部(幼児)、子どもの部(小学生)、中高生の部(中学生)、中高生の部(高校生)、一般の部
海外部門：子どもの部(17歳以下)、一般の部 (18歳以上)
- 審査員：佐々木 正己 (玉川大学名誉教授) ★審査委員長
(敬称略) 今森 光彦 (写真家)
結城 昌子 (アートディレクター・エッセイスト)
脇阪 嘉明 (朝日学生新聞社 代表取締役社長)
岩間 登美子 (株式会社 山田養蜂場 執行役員)
- 主催社：株式会社 山田養蜂場
- 共催社：朝日学生新聞社
- 後援団体：玉川大学ミツバチ科学研究センター、国際児童図書評議会(IBBY)、
日本国際児童図書評議会 (JBBY)、JHP・学校をつくる会
* 文部科学省の生涯学習の一環として実施
* 「こどもエコクラブ」パートナーとして登録